

《 総務委員会からのお知らせ 》

☆モルモットが快適に過ごせる空間デザインコンペ第2弾 表彰式

アヒルのプールを再利用したモルモットの展示場コンペ

円山動物園「こども動物園」の魅力UP プロジェクト「モルモットが快適に過ごせる空間デザインコンペ」の表彰式が12月22日(日)に札幌円山動物園で開催されました。

■受賞者の皆さま

賞	受賞者
最優秀賞・円山動物園長賞	酒井 歩夢 (さかい あゆむ) 様
最優秀賞・北海道建築士会賞	内田 大蔵 (うちだ たいぞう) 様 伊口 蒼真 (いぐち そうま) 様
来園者賞	竹村 歩乃実 (たけむら ほのみ) 様

表彰式は、受賞者の皆さまにご参加いただき、笑顔と共に無事閉幕することができました。次年度は受賞者の方々と共にワークショップなどを開催し、更なる「こども動物園」の魅力UPに取り組んでいきます。次回の開催もご期待下さい！！

なお、受賞作品につきましてはSTREET1月号をご覧ください。



最優秀賞・円山動物園長賞 酒井様



最優秀賞・北海道建築士会賞 内田様、伊口様



来園者賞 竹村様

また、下記の審査員の方々には、厳選なる審査から表彰式までご尽力いただきました。誠にありがとうございました。

- ・柴田 千賀子 様 (円山動物園園長)
- ・小菅 正夫 様 (元旭山動物園園長)
- ・若林 尚樹 様
(北海道武蔵女子大学 経営学部 教授)
- ・岡本 浩一 様
(北海学園大学 工学部建築学科)
- ・小西 彦仁 様
(日本建築家協会北海道支部支部長)
- ・針ヶ谷 拓己 様
(北海道建築士会札幌支部支部長)



表彰式の状況①



表彰式の状況②

《 本部より 》

☆北海道建築士会ホームページ“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！

- 視聴方法 ： 北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
2月パスワード ： 【 Kus052 】

《 クラブ活動からのお知らせ 》

☆札幌支部クラブ活動の報告

- ・グルメの会 第4回は2月後半に和食「無花果」で開催予定です。
- ・ボウリング部 次回の例会は？
- ・カーリンコン部 2月24日(月(祝日))の札幌大会を目指して、1～2月に自主練の予定です。
お時間のある方は是非、**見学に来てみてはいかがでしょうか？**
- ・登山、ハイキング部 雪解け迄『冬眠中』
1月23日(木)新年会開催。
4月燻製食べ比べ会予定です。
第1回は5月中旬に定山溪：
朝日岳もしくは夕日岳の予定です。(登山後、温泉予定)
- ・そば部 『休部中』
- ・映画鑑賞部 3月に**例会スタート予定**で準備を始めました。



登山、ハイキング部 新年会(11名参加)

☆皆様も士会仲間クラブ活動しませんか！

参加者随時募集中！

下記 HP から参加票にて事務局までお申し込みください。

クラブ活動のページへ <https://h-ab.com/sapporo/about/sapporo-club.html>

《 先輩建築士から若手へ「建築士のバトン」のお知らせ 》

☆札幌支部では、本をお譲りいただき、希望する方へお渡する取り組みをはじめています。

埋もれている建築関係の蔵書を、若手建築士の勉強のため譲って頂けませんか？

この趣旨に賛同して頂ける会員の皆さまは、是非ご協力をお願い致します。

■詳しい内容は、こちらからどうぞ

https://h-ab.com/sapporo/pdf/about/app_kenchikubon-no-baton.pdf

■お問い合わせ窓口：

札幌支部事務局；メールアドレス (hksj@h-ab.com) TEL:232-1843

『失敗から学ぶ』 VOL.33 《寒冷地の施工1》

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう（作：井上勝己）

■はじめに

低温環境での施工は適切な温度管理・養生を実施しないと春になってからトラブル発生の恐れがあります。経験上ですが施工環境や施工後の養生環境が10℃以下に想定される場合は事前の対策がポイントです。

■客室内カウンターの花がはがれた

ホテル客室内のカウンター立上部に接着工法で施工された石材が剥がれてクレームになった。

※剥がれた原因の調査

- ・低温環境で接着剤使用時の温度管理が周知徹底していなかった。
- ・低温環境での接着剤オープンタイムの管理不足による接着不良だった。
接着剤メーカーのカatalogに使用環境の留意事項が詳細に記載されている。
品質管理者は、施工計画で低温環境における留意事項を確認し、適切な対応を周知徹底して施工するのがポイント。

■床の真鍮製化粧目地棒が変形して脱落した

ホテル共用廊下の真鍮製床目地棒が変形し、脱落してクレームになった。

※脱落した原因の調査

- ・低温環境で施工したので運用後の暖房により温まり、膨張し、変形して脱落した。
- ・低温下での施工はいろいろなリスクを伴います。
10℃以下の作業環境になる場合は、採暖養生して適正な温度管理がポイントです。

■壁入隅部のクロス目地に隙間が発生

完成時に暖房の試運転をしたら、壁入隅部のクロス目地に隙間が生じて是正を指摘された。

※隙間が生じた原因の調査

低温環境で内装工事を施工した場合は、暖房や空調の試運転で室内が暖まり、クロスのジョイント部や入隅部に隙間が生じます。内装工事開始前に暖房や空調の試運転調整が完了できる工事はまれでありほとんどが内装工事完了後になります。

隙間が発生したら随時ボンドコークで是正しているのが現状ですが、設計時にクロス目地や端部をボードに巻き込むなどの工夫で隙間の防止ができます。

■タイルカーペットが凸凹

低温環境で施工した床タイルカーペットが、運用後の春に目地部が盛り上がりクレームになった。

※床タイルカーペットが盛り上がった原因

施工前の材料保管場所が低温環境の場合は、施工前に仮敷きして、温度管理された施工環境になじませてから施工しなければ、運用後に膨張して目地から盛り上がる可能性があります。

自習型認定研修の設問

設問 1

低温環境の内装工事で正しいのはどれか？

- 材料メーカーがカatalogに記載した施工時の温度は、施工条件となる。
- 低温環境での施工作業中は、採暖等の適切な温度管理が必要、作業後の養生時間中は採暖不要となる。
- 低温環境での施工で発生した不具合は全て施工者の責任となる。

設問 2

寒冷地の内装設計で正しいのはどれか？

- 冬季の低温環境での塗装工事は、有機溶剤の塗料を選定する。
- 内装工事が低温環境となる工期設定は採暖養生を特記に記載する。
- 工事が遅れて低温下の施工の場合は発注者に採暖養生費は請求できない。



認定教材の設問への回答は、CPD 情報システムのページ <https://jaeic-cpd.jp/> にアクセスのうえ、お願いします。
※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。